

検査結果の見方

検査項目	基準値 ※基準値は施設によって異なる場合があります	備考
AST (GOT)	30 U/L以下	肝臓の細胞に含まれている酵素で肝臓の細胞が壊れると血液中に出てきます。肝炎の程度を反映しこの値が上昇します。肝臓病があっても基準値内のこともあります。
ALT (GPT)	男性30・女性20 U/L以下	
γ GTP	男性70・女性30 U/L以下	肝臓で作られる酵素でたんぱく質の分解や合成をする働きがあります。肝臓や胆管の細胞や胆汁中に存在します。肝臓病により肝機能が低下して胆汁の流れが悪くなったり胆管細胞が壊れるとこの値は上昇します。 また、アルコール多飲や薬物などが原因で過剰に作られても高くなります。
T-Bil (総ビリルビン)	0.8-1.1 mg/dL	古くなった赤血球が壊れるときに作られる色素で黄疸の原因となります。胆汁の流れが妨げられたり、肝臓の働きが低下したりすると高くなります。
Alb (アルブミン)	3.8 g/dL以上	肝臓で作られるたんぱく質の代表です。肝臓病が進行し肝機能が低下するとこの値が低下します。
AFP	10 ng/mL未満	がんが産生する物質で一般的に「腫瘍マーカー」と言われています。AFPとPIVKA-IIIは肝がんの診断や治療効果判定に用いられます。いずれのマーカーも肝がんの早期には上昇しないこともあります。 また、肝がんがなくても軽度上昇することがあります。なお、ワルファリンを飲んでいる方はPIVKA-IIIは高値となるため結果の判定には注意が必要です。
PIVKA-II (ピブカ・ツー)	40 mAU/mL未満	
ヒアルロン酸	50 ng/mL以下	肝臓病が進行すると肝臓が硬くなる（線維化）ことがあります。これらは一般的に「線維化マーカー」と言われており、肝臓病が進行し肝臓が硬くなるとこの値は上昇します。
IV型コラーゲン	150 ng/mL以下	
IV型コラーゲン7S	6 ng/mL未満	
M2BPGi	基準値（一）：1.00未満	

肝臓なんでも相談窓口

佐賀大学医学部附属病院
肝疾患センター

0952-34-3731

月～金（祝日除く）10:00～16:00



ウイルス治療のゴールは
肝臓が元に戻る
新たなスタート



肝炎ウイルス治療後の
定期検査のススメ

Q ウイルスを消したら、すぐに肝臓が元通りきれいになりますか？

A ウイルスに長く感染していた肝臓は傷んでいて、**治療でウイルスを消したとしてもすぐに元通りのきれいな肝臓になったとは言えません。**再び元通りのきれいな肝臓になるには**時間がかかる**ので、肝がんになる危険性があります。

※「肝臓がきれいになる」とは、「肝臓の線維化がとれる」ということです。



CHECK!

☒ **肝がんになりやすいのはこんな人**

- ☐ 過去にC型肝炎またはB型肝炎にかかったことが一度でもある
(治療でウイルスを消している、あるいは抑えている人も含む)
- ☐ 治療前すでに肝硬変またはそれに近いと言われた
- ☐ 脂肪肝・非アルコール性脂肪肝炎(NASH)
- ☐ アルコールをたくさん飲む
- ☐ タバコを吸う
- ☐ 太っている
- ☐ 高齢
- ☐ 糖尿病
- ☐ 家族に肝がんの人がいる



さらにこんな場合も!

食べ過ぎてしまい、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)に!!

肝炎の症状である体のだるさから解放され、元気に活動することでお腹が減ります。食べ過ぎてしまい単純性脂肪肝になり、更に非アルコール性脂肪肝炎(NASH)になる事も!

発がんの可能性

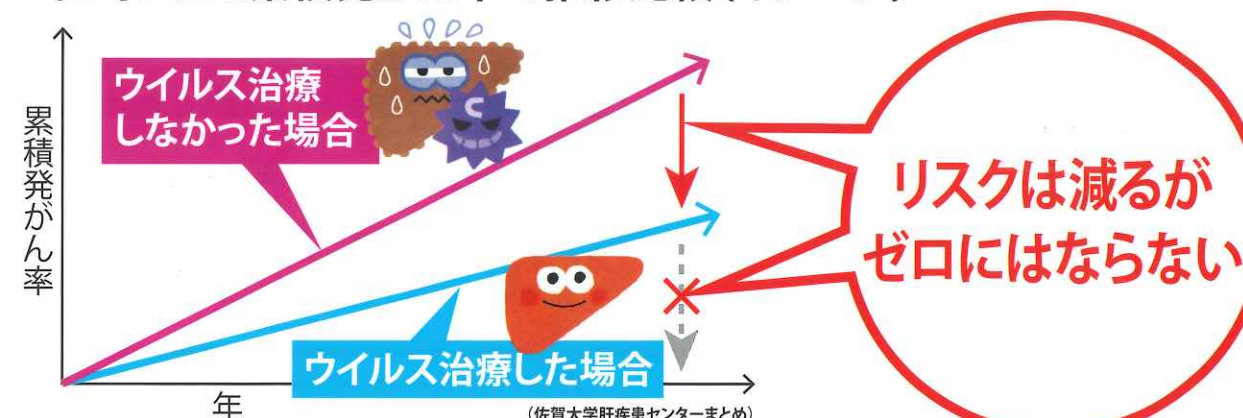


Q C型肝炎ウイルスが消えたら、発がんしませんよね?

A 飲み薬の治療で**C型肝炎ウイルスが消えても発がんする可能性が残っています。**



経時による累積発がん率の推移比較(イメージ)



※個人の発がん率が上昇することを示しているのではなく、多くの症例を観察して発がんした人の比率の違いを示しています。

肝がんの早期発見・治療が大切です

● 一般的な定期検査の内容

・血液検査

・AST・ALT・γGTP・T-Bil・Alb
・腫瘍マーカー(AFP、PIVKA-II)
・線維化マーカー(ヒアルロン酸、IV型コラーゲン7S、M2BPGi)

・エコー検査、肝硬度検査

・脂肪肝かどうかエコー検査でわかります
・肝がんの有無
・肝硬度測定

・CT/MRI検査

・肝がんの有無がわかります

● 肝がんのスクリーニング検査の目安

・血液検査
・超音波(エコー)検査

→ **3~6ヶ月ごと**

治療前に肝硬変または近いと言われた人は特に

・CT/MRI検査

→ **6~12ヶ月ごと**

定期検査は車の定期点検と同じ!

ウイルス治療が終了した後は、たとえ症状がなくてもご自分に合った定期検査の計画を担当医と相談しましょう。

